

(古町精製所の「お米のむす」ケルト) (東京都江東区で)

(東京都江東区)「...」とPRする。「...」といふ。」とPRする。米の販売を活性化し消費を増やしていくために何が必要か。農林中金は総合研究所主任研究員の小針美和氏は「既存の米の概念に捉われず、いろいろな米の楽しみな方を提案していく必要がある」と話す。健志向の人向けて米以外の食品セッショントで販売するなど工夫も有効となる。

米の販売会議成敗概要

7分で炊きたて
飲むヨーグルト!
オートミール風!?

トレンド情報局

今月上旬、米を使つた新商品を売り込む「お米・穀物産業展」が東京都内で開かれた。ヨーロッパ風」「才一川一郎風」といつた米といふ牌に据わらぬ商品や、時短で食へられる商品が登場。米の食べ方を広げ、新しい消費を生み出せるか。注目の新商品に迫った。(玉井理美)